



人とつながり、刺激しあい、さらなる高みへ。

「ORDEM E PROGRESSO」をモットーに



黒澤 満 教諭

KUROSAWA Mitsuru

金城学院高等学校
担当教科 地歴・公民

立正大学文学部地理学科卒業後、国分寺市国分寺遺跡調査会発掘作業員として働く。その後海城学園中学・高等学校で社会科の非常勤講師を務める傍ら、立教大学ラテン・アメリカ研究所ラテン・アメリカ講座で4年間学ぶ。

1987年金城学院高等学校専任教諭として赴任。6年間高校在籍後、中学校に4年間、さらに高校へ異動し、現在に至る。

の意味で大切にしていないからだと思います。まさに「温故知新」です。

「ORDEM E PROGRESSO」の姿勢でこれからも。

授業で心がけているのは、地理でも歴史でも本校や、本校の行事などに関わる地域や時代の出来事があれば、できるだけ教材の一つにすること。たとえば本校の修学旅行先は長崎・雲仙・嬉野方面なので、その地域にまつわる授業や課題を出したりしています。また、電子地図の活用など、授業ではパソコンやiPadも使いますが、課題研究ではあえて手書きのものを求めたりしています。その方が一人ひとりの個性がよく出て、発展性があります。先端のもの、変わらず大切なものとの掛け合わせのバランスが肝心かと思います。私が大切にしている言葉に「ORDEM E PROGRESSO」という言葉があります。ブラジル国旗の青い天球の中にある白帯に描かれているもので、日本では「秩序と進歩」と訳されています。「秩序」と聞くと整然と序列ができていようなイメージですが、ここでいう秩序は個々が上下関係なく混然とつながりあい、個々も一つの総体として力を発揮します。生徒たちのさらなる成長を願い、授業、部活、諸行事等の学校生活において、今後も変わらずこの姿勢で励みたいと思っています。

教えて先生！

My Favorite

リオ・デ・ジャネイロのシンボル「キリスト像」。

2016年のリオ・デ・ジャネイロ五輪の時に再訪・観戦。華やかなスポーツの祭典の陰でファベラ（貧民街）は1993年に訪れた時と変わらない姿があり、複雑な思いが残りました。

音楽鑑賞に野球観戦、ミステリー探究、旅、街ぶらと実に多趣味で、しかも熱い！音楽はプログレッシブ・ロックに始まって、ボサ・ノバ、サンバ、タンゴ、レゲエなどの中南米音楽、ジャズ、クラシックまで幅広く楽しんでいます。

Q. 黒澤 満先生ってどんな人？

地理の授業、最高に面白かった！

地理は暗記科目と思われがちですが、黒澤先生の地理は「今の世界を知る」科目としてすごく役に立ちました。特に先生が定期的に配ってくれる手書きのプリントには「愛」がこもっていて、毎回楽しみでした。

母も黒澤先生に担任してもらいました！

左から
市川乃彩さん
金子さくらさん
矢野真里奈さん
(共に3年生)



これからも軽音楽部をよろしくお願いします！

音楽の好みは私たちの世代とちょっと違うけど（笑）、いつも真剣に私たちと向き合ってくれ、感謝です。



左から
部長の柘植千空さん
神谷心さん
岡本菜里さん
(共に3年生)

植木先生 vs 黒澤先生 プロ野球の応援合戦を盛り上げました！

黒澤先生は副校長の植木隆伸先生と仲良しで、それぞれタイガースとスワローズの大ファン。私たちがグッズやイラストで2人のファン心理を煽りました。

左から、奈佐帆夏さん、金本明日華さん(共に3年生)

